

令和8年度家庭科年間指導計画（評価計画）

第3学年

家庭科

学期	月	分野	時数	単元名（単元を貫く課題）	観点別評価				
					A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度		
1	4	A 家族・ 家庭生活	6	幼児の生活と地域・家族の関わり	①幼児の身体の発達の特徴について理解している。	①幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。	①幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		
					②幼児の心の発達の特徴について理解している。	②幼児との関わりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。	②幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		
					③子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。	③高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	③よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。		
					④幼児にとっての遊びの意義について理解している。				
					⑤高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。				
					⑥介護など高齢者との関わり方について理解している。				
			1	①幼児のころと今の自分		①	①		
			2	②幼児の心身の発達	①、②		①		
			1	③幼児の遊び、おとなの関わり	③、④	②	③		
			1	④地域に暮らす高齢者	⑤				
			1	⑤高齢者との関わり	⑥	③	④		
2	7	B 衣食住の 生活	7	幼児と家庭の関わり方	①安全に配慮して器具を扱い作業ができる。	①幼児の生活で配慮しなければならぬことをふまえて作品を工夫することができる。	①安全や衛生に配慮した調理方法を理解し、取り組んでいる。		
					②計画的に丁寧に仕上げることができる。			②幼児の食生活に配慮した調理を理解している。	②より豊かな生活のために、工夫・創造しながら作品制作に取り組んでいる。
					③幼児の食生活に関心をもち、大人との違いを理解している。				
				④基本的な調理技能が身についている。					
			5	①豊かな衣生活	①、②	①	②		
			2	②幼児の食事	①、③、④	②	①		
3	1	C 消費生活・ 環境	4	持続可能な社会	①自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	①自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	①よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。		
						②自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。			
			1	①消費行動が社会に与える影響	①	①			
			2	②世界と連帯した持続可能な生活の創造へ	①	②	①		
			1	③3年間の振り返り	①	②	①		